

果樹の生育状況と当面の技術対策

I 生育状況

4月9日～12日の気温が平年よりかなり高かったため、生育は大幅に進んでいる。

1 りんご

「ふじ」の展葉日は、三戸町梅内で平年より4日早く、八戸市櫛引で7日早かった。

表1 りんご「ふじ」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	本年	4/6	4/12			
	平年	4/6	4/16	5/5	5/10	5/15
	前年	3/29	4/6	4/28	5/4	5/9
	平年差	0	-4			
八戸市 櫛引	本年	4/5	4/12			
	平年	4/7	4/19	5/7	5/12	5/17
	前年	3/29	4/9	4/29	5/5	5/10
	平年差	-2	-7			

※平年値：2001～2020年の20年間平均

2 おうとう

「佐藤錦」の発芽日は、南部町高瀬で平年より5日早く、八戸市南郷で10日早かった。

表2 おうとう「佐藤錦」の生育ステージ

調査地点	年	催芽日	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
南部町 高瀬	本年	4/2	4/13				
	平年	4/1	4/18	4/28	4/27	4/30	5/10
	前年	3/29	4/13	4/27	4/21	4/25	5/7
	平年差	+1	-5				
八戸市 南郷大森	本年	4/3	4/13				
	平年	4/3	4/23	5/2	5/2	5/4	5/14
	前年	3/26	4/15	4/24	4/24	4/28	5/11
	平年差	0	-10				

※平年値：南部町高瀬 2013～2021年の9年間平均、八戸市南郷 2002～2021年の20年間平均

3 もも

「川中島白桃」の発芽日は、八戸市櫛引で平年より4日早かった。

表3 もも「川中島白桃」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
八戸市 櫛引	本年	4/11				
	平年	4/15	5/1	5/1	5/4	5/13
	前年	4/7	4/24	4/24	4/27	5/8
	平年差	-4				

※平年値：2002～2021年の20年間平均

4 西洋なし

「ゼネラル・レクラーク」の発芽日は、南部町大向で平年と同じであった。

表4 西洋なし「ゼネラル・レクラーク」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
南部町 大向	本年	4/7				
	平年	4/7	4/26	5/3	5/5	5/10
	前年	3/31	4/22	4/27	4/28	5/6
	平年差	0				

※平年値：2002～2021年の20年間平均

5 すもも

「大石早生」の発芽日は、三戸町梅内で平年と同じであった。

表5 すもも「大石早生」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	本年	3/31				
	平年	3/31	4/25	4/25	4/27	5/4
	前年	3/27	4/17	4/17	4/19	4/29
	平年差	0				

※平年値：2002～2021年の20年間平均

6 うめ

「豊後」の満開日は、南部町高瀬で平年より7日早かった。

表6 うめ「豊後」の生育ステージ

調査地点	年	発芽日	開花日	満開日	落花日
南部町 高瀬	本年	3/21	4/12	4/13	
	平年	3/21	4/17	4/20	4/27
	前年	3/13	4/12	4/14	4/21
	平年差	0	-5	-7	

※平年値：2008～2021年の14年間平均

7 ぶどう

露地栽培「キャンベル・アーリー」の催芽日は、三戸町梅内で平年より4日早かった。
ハウス栽培「キャンベル・アーリー」の発芽日は、三戸町梅内で平年より1日遅かった。

表7 ぶどうの生育ステージ

調査地点	品種	年	催芽日	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	キャンベル・ アーリー (露地)	本年	4/12					
		平年	4/16	4/25	5/7	6/13	6/16	6/20
		前年	4/11	4/17	5/2	6/9	6/13	6/18
		平年差	-4					
	キャンベル・ アーリー (ハウス)	本年	3/29	4/5				
		平年	3/29	4/4	4/15	5/14	5/16	5/20
		前年	3/28	4/2	4/16	5/12	5/14	5/19
		平年差	0	+1				

※平年値：2002～2021年の20年間平均

※キャンベル・アーリー（ハウス）のビニール被覆：3/23（平年：3/16、前年3/19）

II 当面の技術対策

仙台管区気象台の1か月予報（4月14日発表）では、気温は高い確率が60%となっている。今後の管理作業に当たっては、樹種ごとに自園地の生育状況を確認して適期に実施し、特に薬剤散布は遅れないようにする。

1 霜害防止対策（各樹種共通）

本年は生育が早まっているため、霜害を受ける危険性が例年より高い。各樹種とも低温に弱い生育ステージに入っているため、気象情報に注意し、降霜のおそれのある場合は、防霜ファンや燃焼法による対策を行う。

なお、燃焼法を実施する場合は、事前に所轄の消防署に届出が必要である。

2 りんご

(1) 薬剤散布

「ふじの展葉1週間後頃（1回目）」の薬剤散布は、三戸町梅内、八戸市櫛引とも4月20～21日頃を目安とする。地域により生育のバラツキがみられていることから、自園地の生育状況を確認し、適期に薬剤散布を行う。

(2) 結実確保

近年、人工授粉の未実施により、カラマツ（不受精花）や形の悪い果実がみられるため、結実確保と良品生産に向けて訪花昆虫の導入や人手授粉を行う。開花期の不順天候で訪花昆虫の活動が鈍い場合は、積極的に人手授粉を行う。

(3) 黒星病対策

「ふじの展葉1週間後頃」～「落花20日後頃」は、黒星病の重点防除時期なので、散布間隔と散布量を守る。被害葉や被害果は見つけ次第、摘み取って土中に埋めるなどして処分する。

(4) 腐らん病対策

昨年、一昨年とも腐らん病の発生が多かったため、見つけ次第、適切に処分する。枝腐らんは切り取って処分し、胴腐らんは削り取って有効薬剤を塗布するか泥巻きを行う。

3 おうとう

生育が早まっているので、適期を逃さないように授粉する。

人手授粉の回数が多い方がよく、少なくとも5分咲き～満開頃に2回以上実施する。特に昨年のように、霜害を受けた場合や開花期が低温の場合は、結実確保のため、できるだけ回数多く行う。

4 もも

せん孔細菌病対策として、春型枝病斑の切除を徹底する。春型枝病斑は4月から見え始め、開花以降も発生が続くので、定期的に園地を見回り、見つけ次第切除し、園地から持ち出して適切に処分する。特に、発芽や展葉の遅れている枝、幼果が枯れ込んでいる枝等に注意し、見逃さないようにする。



せん孔細菌病の春型枝病斑

5 西洋なし

結実確保のため、訪花昆虫の導入や人手授粉を行う。

輪紋病対策として、伝染源になる枝幹部のいぼ病斑は、胞子の飛散が始まる5月下旬までに削り取って、塗布剤を塗布する。

6 すもも

近年、園地や品種により結実のバラツキが目立つため、毛ばたき授粉を積極的に行い結実を確保する。

黒斑病の発生が多い園地では、伝染源となる春型枝病斑を見つけ次第、切り取って処分する。

7 うめ

黒星病等の防除のため、「落花直後」の薬剤散布は遅れないように実施する。

8 ぶどう

養分の競合や新梢の過繁茂を防ぐため、摘芽や摘梢を行う。樹勢に応じて2～3回に分けて行い、花穂の発育の良い中庸な新梢を残す。なお、霜害のおそれのある場所では、晩霜がなくなってから最終本数を決める。